

Excel 聞き取り上手

1.2.6

操作マニュアル

有限会社 エスワイシステム

2024/2/26

改 定 欄

改正 番号	日付	ページ	改 正 内 容	
00	R1. 11. 07	全	新規作成	
01	R1. 11. 11	1	1. 動作環境 .NET フレームワーク 4.51 以上 追記	
		16	追記 14. (3)「聞き取れません」などのメッセージ音声が続り返し出力されてとまらない	
		16	追記 17. ボイス・バリュウフォルダーを誤って削除した場合	
	R1. 11. 15	15	追記 14. (4) 音声の変換に時間がかかる。応答しなくなるなど不安定になる。	
03	R1. 11. 25	全	ソフトの名称変更「ボイス・バリュウ」→「Excel 聞き取り上手」	
10	R2. 01. 05	全	ユーザー情報（メールアドレス、パスワード）を使わないように仕様変更したことに伴い関連箇所を全て変更。	
		5	E START アプリをバンドルしたことに関連して追記	
11	R2. 01. 14	—	価格値下げ	
		1	動作環境についてストアアプリ版では動作しないことを追記	
		12	ネットワークエラー復旧時の動作追加	
		18	「Excel が見つかりません」のエラーが表示されるときの対応追記	
12	R2. 01. 20	11	音声操作コマンド ・「クリア」、「単語のヘッダー」、「小文字モード」、「大文字モード追加」	
		20	・ ネットワークエラー復旧時の操作を削除 記号変換追記	
13	R2. 01. 29	11	・ 数字入力／文字入力・小文字モード／大文字モード、・空白除去/空白除去しない を追記	
		20	・ 日付、時刻の入力方法を追記	
14	R2. 06. 15	1	・ 日付時刻の入力、同音異義語の再変換追記	
		10	・ 日付、時刻入力モードでの入力方法追記	
		11	・ 元に戻すコマンドの追加	
		13	・ 予約語一覧画面 追加	
		17	・ 誤入力された文字列の訂正追記	
		21	・ 音声入力できないときなどにチェックするポイントに「Excel のセルをキーボードで編集のときはセットできません」を追記	
		25	・ バージョンアップ版にアップグレードするときを追記	
15	R2. 07. 10	1, 4, 8, 11, 15	・ メモ帳、TeraPad への入力機能追加	
16	R2. 10. 11	—	・ Windows デスクトップの OneDrive に Excel が保存されている場合の不具合修正	
17	R2. 11. 25	16	・ ユーザー辞書機能追加	
		全 22	・ メイン画面のボタン 4 つにアイコン表示 ・ ブラウザーには入力が表示されるが Excel のセルにセットできないときの対策追加	

18	R3. 1. 17		パソコンの一部機種においてオンラインのライセンス認証ができない不具合の対策	
19	R3. 6. 28		<ul style="list-style-type: none"> ・ Google の音声合成ライブラリの動作が変化し、小数点以下 1～2 桁の数値を復唱する際に〇年〇月または〇月〇日と復唱されるようになったことに対する対応 ・ ブラウザーの動作が変化し Google Chrome 以外のブラウザを起動したときにエラーメッセージが出なくなった不具合に対する対応 ・ 〇. 9999 の音声は〇. 99 救急 と変換される動作に対して補正追加 	
20	R3. 7. 9	16 17 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ メモ帳、Terapad 編集モードにおいて「かいぎょう」コマンドで改行する機能を作成 ・ メモ帳、Terapad 編集モードにおいて音声の切れ目で自動判定して「。」、「？」を付加する機能を作成 ・ 一時停止／再開機能を追加 	
21	R3. 7. 12		・ ライセンス購入申込時の不具合修正	
22	R3. 7. 15	23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復唱した音声再び入力されないよう対策して以下を削除 17. (1)「聞き取れません」などのメッセージ音声は繰り返し出力されてとまらない 	
23	R3. 8. 9	12, 13 15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種設定画面◆音声操作コマンド 認識精度を上げるため移動関係のコマンドの文字列を変更しました。 ・ 復唱中に次の音声入力を開始するか復唱が終わるまで次の認識を開始しないかを選択できるようにしました。 	
24	R4. 1. 27	9, 10	10. ブラウザーの設定 Chrome の設定画面が変更されたことに伴い操作説明を変更しました。	
25	R4. 3. 7	9～11 13 16 18 26	ブラウザー設定画面の変更 各種設定画面の画像変更、指定座標に移動の推奨設定値変更 新規機能「入力後のセル自動移動」追記、新規機能「マクロ実行」の説明追記 (5) ユーザー辞書画面を表形式で編集するよう変更 マイクのボリューム設定方法 Windows の設定画面変更に伴う画面イメージ差し替え	
26	R5. 4. 16	P7, P8 P9～12	<ul style="list-style-type: none"> ・ (1), (3) 起動直後の画面 バージョン情報の表示をリストボックスへ移動 ・ 9. ブラウザーの設定 Google Chrome の設定画面の操作方法が変わったのでこれに合わせて修正 Microsoft Edge も音声認識が利用できるようになったので利用できるように明記 	
27	R6. 2. 26	P9～11 P12, 13 P13, 16	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9. ブラウザーの設定 Google Chrome の操作方法変更に対応 ・ 指定座標に移動コマンド: マニュアルの誤り訂正 座標(column) [列の] (row) 行目 → 座標(column) 列の(row) 行目 ・ ユーザー辞書を使って特定のセルへの移動を安定して行う。 ・ 入力後のセル自動移動が有効の時に次の行の先頭、次の列の先頭へ移動できるコマンドを追加 	

目次

1.	動作環境.....	1
2.	動作概要.....	1
3.	ソフトの構成.....	1
4.	ダウンロード.....	2
5.	起動.....	3
6.	使用権許諾表示	5
7.	サーバー機能の有効化.....	6
8.	お試し版での使用開始.....	7
9.	ブラウザの設定.....	9
10.	EXCELの起動.....	11
11.	音声入力と音声操作機能	12
12.	購入申込.....	21
13.	ライセンス認証	22
14.	誤入力避けるには	23
15.	誤入力された文字列の訂正	24
16.	音声入力できないときなどにチェックするポイント.....	26
17.	パソコンのOSを再インストールした場合.....	29
18.	VOICEVALUE*.**フォルダーを誤って削除した場合	29
19.	バージョンアップ版にアップグレードするとき	29
20.	パソコンが故障したら	29
21.	参考：記号変換	30

本書では Excel への音声入力ソフト「Excel 聞き取り上手」の操作方法について説明します。
本ソフトウェアを活用する上で重要な音声入力のコツおよびソフトウェアのクセについても説明していますので、ご一読願います。

1. 動作環境

以下を準備します。

(1) パソコン

OS Windows7 32bit/64bit、Windows10 64bit、Windows11 64bit、
.NET フレームワーク 4.51 以上
必要に応じてヘッドセットなど

(2) インターネット接続

音声認識に必要、ご購入申込の際にも必要

(3) 移動先で使う場合はモバイルルータやスマホのテザリングなどが必要です。

(4) ブラウザー

Google Chrome または Microsoft Edge がインストールされていること。

(5) Excel

Excel 2007 以降 **(注意：ストアアプリ版では動作しません)**

パソコンの Office を、ストアアプリ版からデスクトップ版に入れ替える手順は以下を参照下さい。
<https://curio-shiki.com/blog/office/office-storeapps-to-desktop-version>

(6) ローカルのパソコン内で IIS や Apache などの Web サーバーを起動している環境では本ソフトウェアが動作しない可能性があります。

(7) 社内ネットワークにプロキシサーバーが存在する場合「ネットワークに接続できません」のエラーが出る場合があります。

2. 動作概要

音声入力された数値を Excel の選択中のセルに入力します。日付時刻も入力できます。その他一般的な文章も入力できますが、短い単語では期待と異なる同音異義語や発音の似た他の単語が入力されやすいです。

その場合は訂正したい部分を選択してキーボードの「変換」キーを使って再変換することができます。

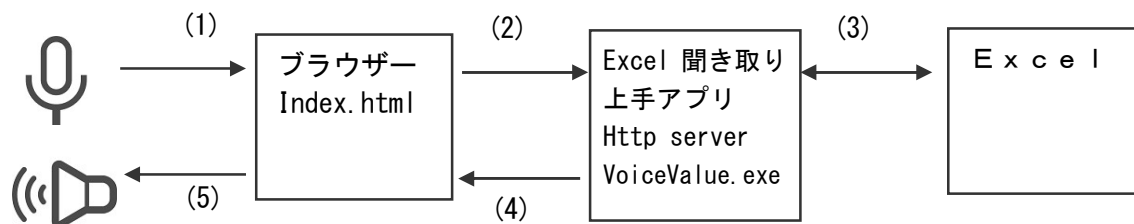
V1.1.6 からはおまけとして Excel の代わりにメモ帳 や フリーソフト TeraPad へ入力することもできるようになりました。(Windows11 ではメモ帳への入力はできません。)

3. ソフトの構成

音声入力動作を実行させるには・ブラウザー、・Httpサーバー、・Excelの3つのソフトが起動している必要があります。

処理の主役となるのがブラウザーで、(1)「音声認識」と(5)「発音」を行います。

Excel 聞き取り上手アプリは(2)「ブラウザーが音声から文字列に変換したデータ」を受け取り Excel にセットします。また Excel 聞き取り上手アプリからは(4)「Excel にセットした内容、または実行したコマンド文字列」などをブラウザーに返します。ブラウザーは Excel 聞き取り上手アプリから渡された文字列を(5)「復唱」します。



3つのソフトの起動順序には特に制限はありません。ただし、お使いのPCの環境によっては起動直後にExcel聞き取り上手からExcelへのデータ設定ができないことがあります。その際はブラウザをクリックしてディスプレイの最前面に出した後、Excelをクリックして最前面に出すと直るようです。

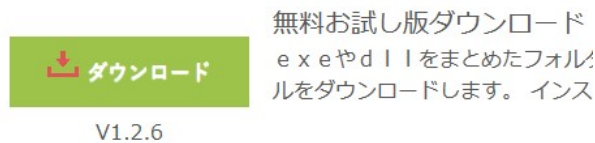
上の図には図示していませんが音声認識の際にはChromeはインターネット上のサーバーにアクセスしているようです。ネットを切断すると音声認識が停止します。

4. ダウンロード

ここでは以下のサイトからダウンロードする例を取り上げますが、ベクターのサイトからもダウンロードできます。ベクターのサイトからダウンロードした場合もZIPファイル解凍、起動などの操作は同じです。

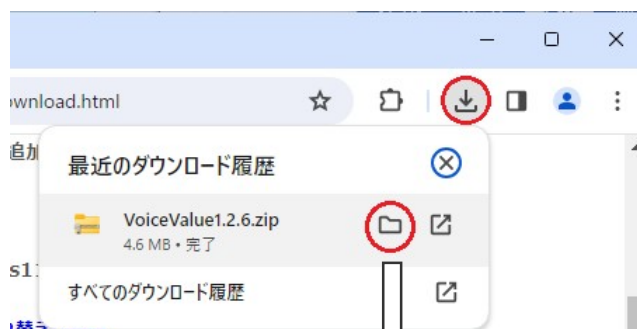
(1) 以下のWebページを表示してスクロールするとダウンロードボタンがあります。

<https://sy-sys.com/voicevalue/download.html>



(2) ダウンロードが完了すると Google Chrome では右上のダウンロードアイコンをクリックすることでダウンロード履歴が表示されます。

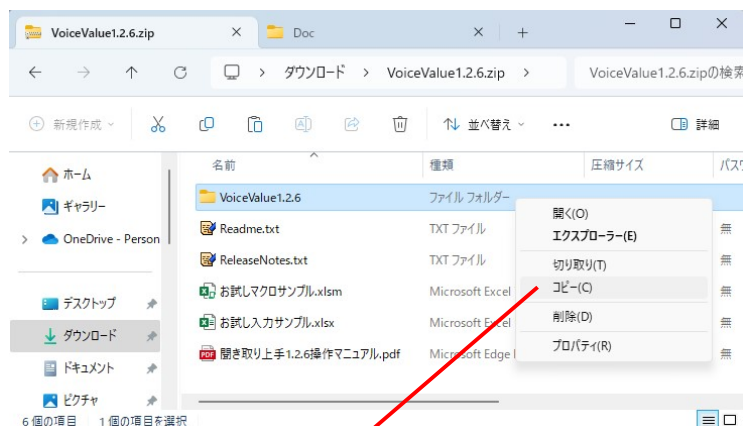
ダウンロードされるファイル名は VoiceValue<version>.zip です。



次ページへ

5. 起動

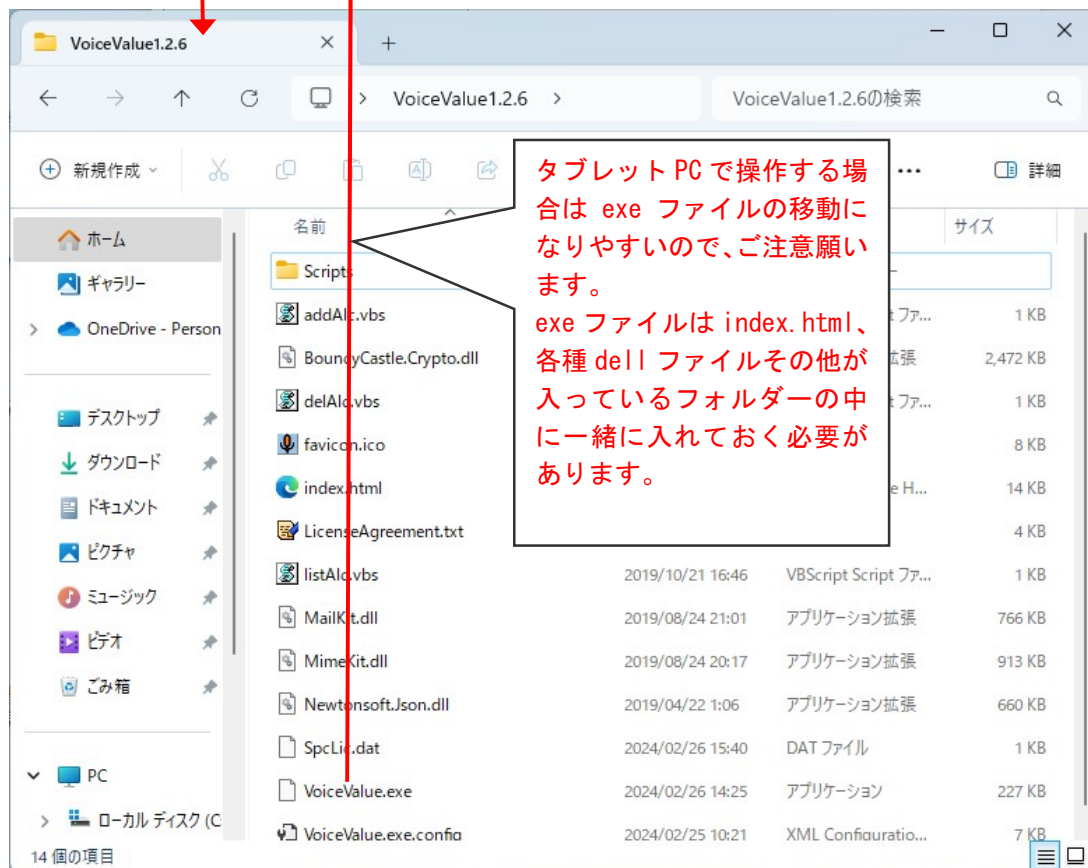
- (1) ZIP ファイルをウィルススキャン後に、エクスプローラーで ZIP ファイルを開きます。
ファイル内の「VoiceValue*. *. *」をフォルダーごとお好みの場所に張り付けます。



デスクトップに張り付けて解凍した例。



- (2) VoiceValue.exe のショートカットをデスクトップなどに作成し起動します。
zip ファイルの中の exe をそのままダブルクリックして起動しないでください。解凍した状態でなければ動作しません。



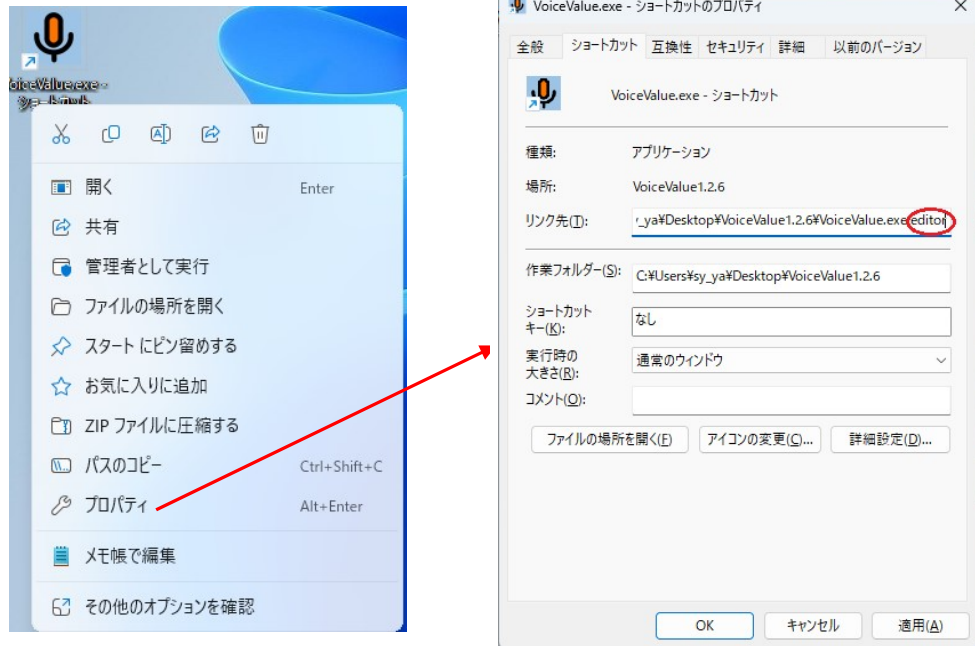
(3) エディター編集用として起動する

作成したショートカットを右クリックしてプロパティを開きます。

リンク先(T):に <フォルダー名>%VoceValue.exe **editor** と入力して[OK]で閉じます。

(引数に"editor"を指定して起動します。)

このショートカットから起動するとメモ帳(Windows10 以前), TeraPad の編集ができます。



エディター編集用として起動すると Excel には入力できません。

Excel 入力用と使い分けたいときはショートカットを2種類作成します。

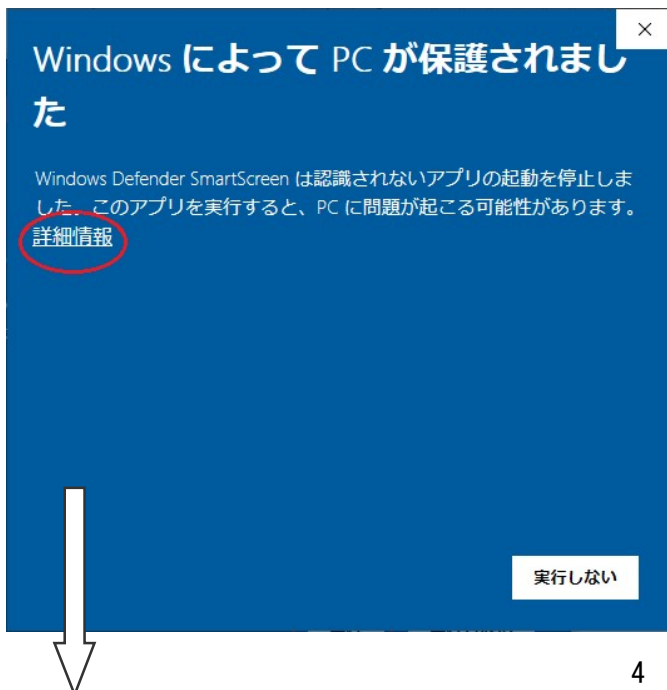
(4) VoiceValue.exe をこのまま起動するとブロックされることがあります。

Web ページからダウンロードした exe ファイルにデジタル署名がない、ダウンロード数が少ない場合にブロックされるようです。

(5) セキュリティソフトとして Windows Defender をお使いの場合

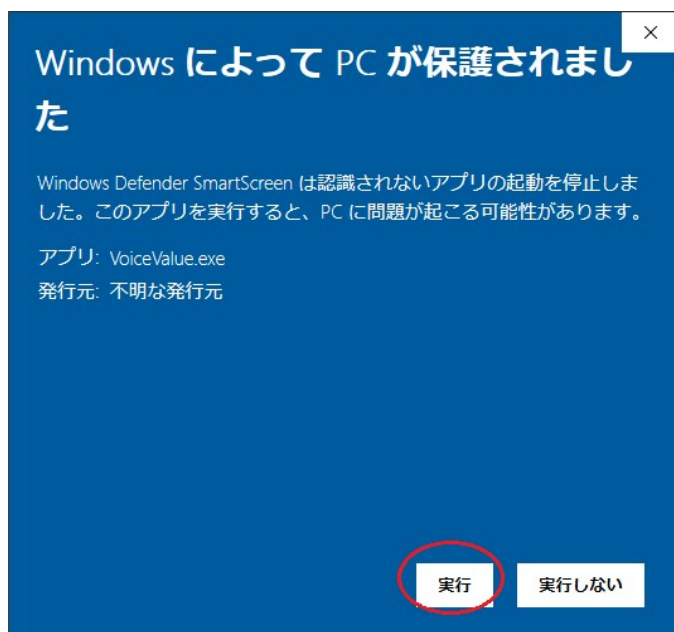
Windows Defender SmartScreen の設定を以下の URL を参考に変更します。

<https://121ware.com/qasearch/1007/app/servlet/qadoc?QID=020592>



WindowsDefenderSmartScreen

アプリとブラウザーコントロールの設定を「ブロック」から「警告」に変更した後、左図のように「詳細情報」をクリックすると「実行」ボタンが表示されるようになります。



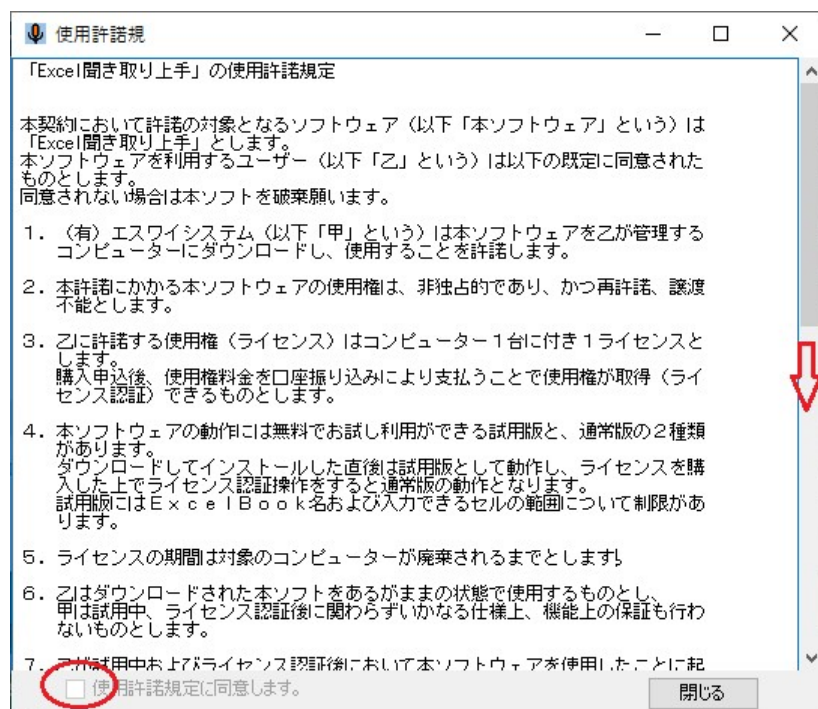
WindowsDefender 以外のセキュリティソフトをお使いの場合はそれぞれの説明書を参照して操作願います。

6. 使用権許諾表示

初めて実行した時は次の画面が表示されます。

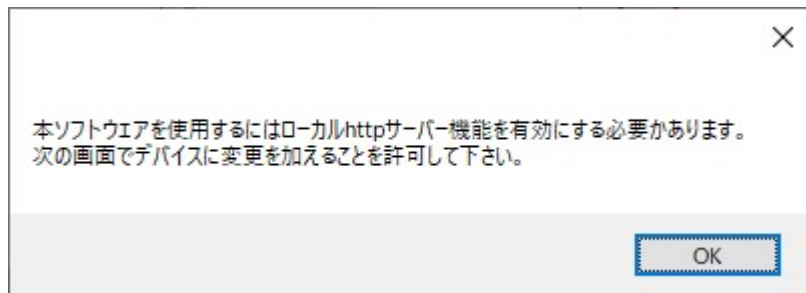
使用権許諾表示に同意できる場合はチェックを付けて「閉じる」を選択します。

後の方にも重要事項があるので最後までスクロールして確認願います。

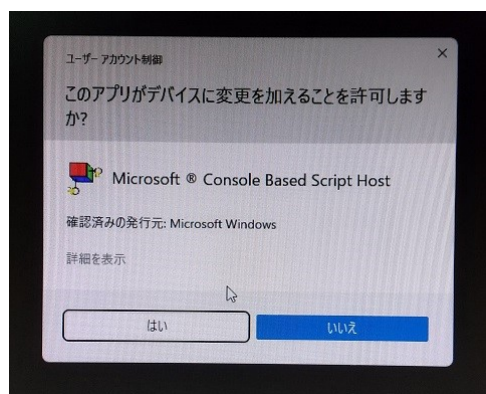


7. サーバー機能の有効化

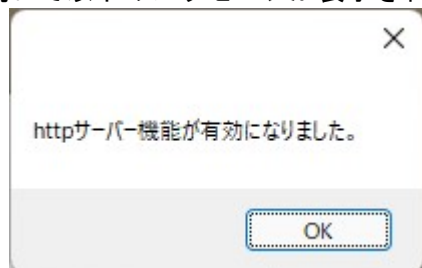
パソコン内で本アプリ用のWebサーバーが使えるようにします。



「OK」クリック後に表示される「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」のメッセージに対して「はい」を選択します。



続いて以下のメッセージが表示されます。



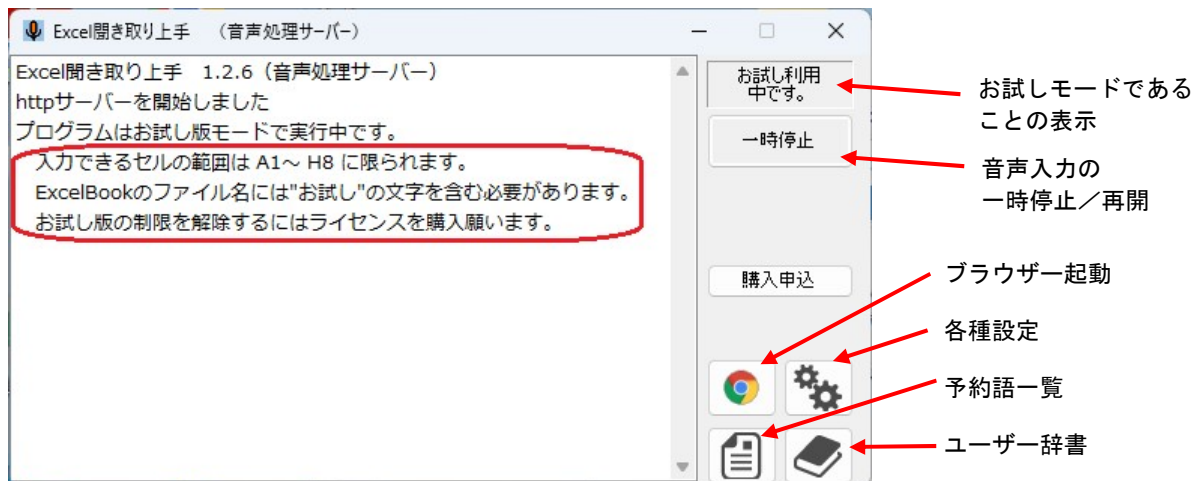
8. お試し版での使用開始

(1) 起動直後の画面は以下のようになります。

お試し版の状態（お試しモード）でアプリケーションが起動します。同時に、ブラウザが起動します。このお試しモードでは一部の機能に制限があります。

- ・入力できるセルの範囲はA1～H8までです。
- ・ExcelBookのファイル名には「お試し」の文字を含んでいる必要があります。

以上の条件を満たしていない場合にはセルに入力されません。



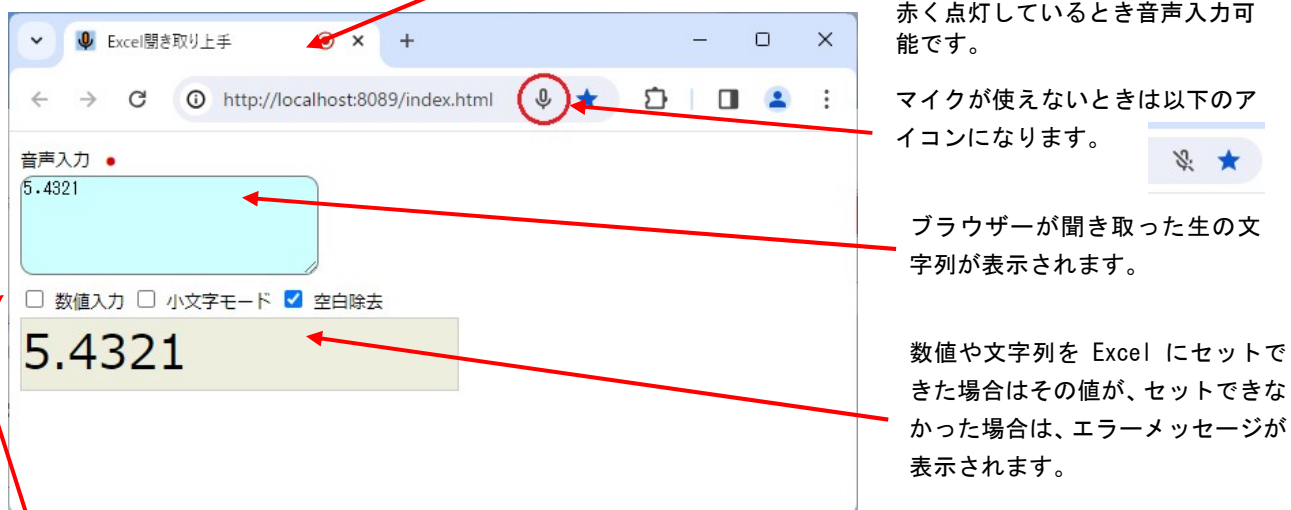
お試し版の制限を解除するにはライセンスの購入が必要です。

(2) ブラウザー

アプリケーションの起動と同時に、ブラウザが起動します。

この時 Chrome がデフォルトのブラウザとして選択されていなかった場合には、デフォルトのブラウザが起動し、「chrome 以外のブラウザでは音声入力できません。」のメッセージが表示されます。

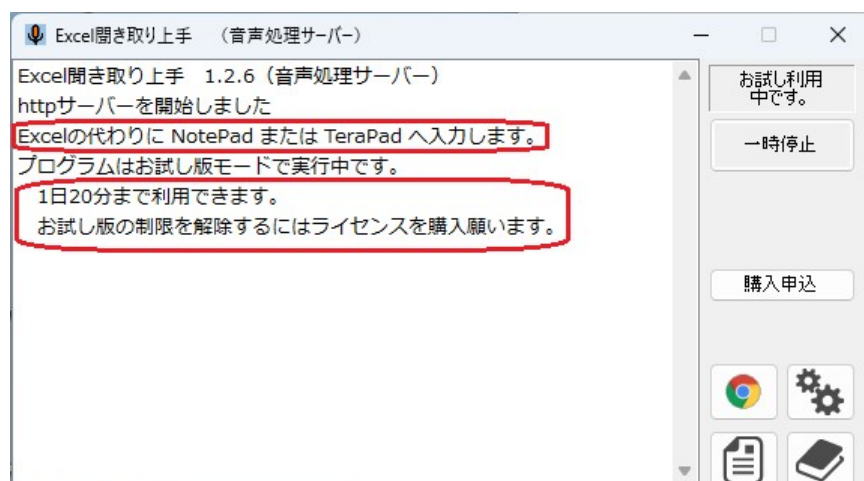
ブラウザ



「数値入力」のチェックを外すと、音声を変換した文字列がそのまま Excel のセルへセットされます。20 秒程度までの短い文章が扱えます。長いと応答が無くなるなどの現象が発生します。

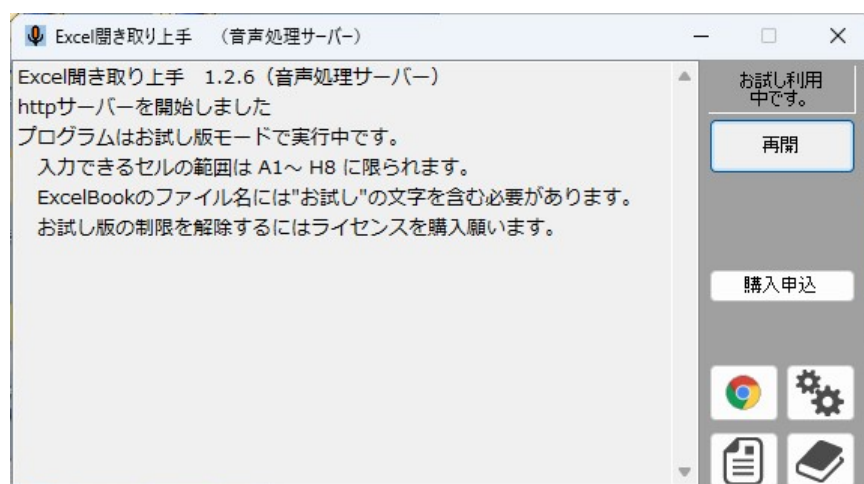
「各種設定画面」の「セルの表示形式を維持する」にチェックが付いている場合本チェックボックスは非表示となります。（数値、文字列入力モードはセルの表示形式により自動的に切り替えられます。）

- (3) エディター編集用として起動した場合、起動直後の画面は以下のようになります。
お試しモードでは一部の機能に制限があります。
・1日に約20分間まで利用できます。約20分を超過するとメモ帳(Windows10 まで)、または TeraPad
に入力できなくなります。翌日になるとまた20分間まで利用できます。



(4) 一時停止／再開

一時停止ボタンは急に割り込みの音声が入って音声入力を停止したいときに使用します。
一時停止中は画面が暗くなります。
用件が済んだら「再開」ボタンにより通常の状態に復帰します。
本機能はアプリケーションの使い方に慣れて、音声入力ができない時に原因がすぐにわかるようになってからお使いになることをお勧めします。

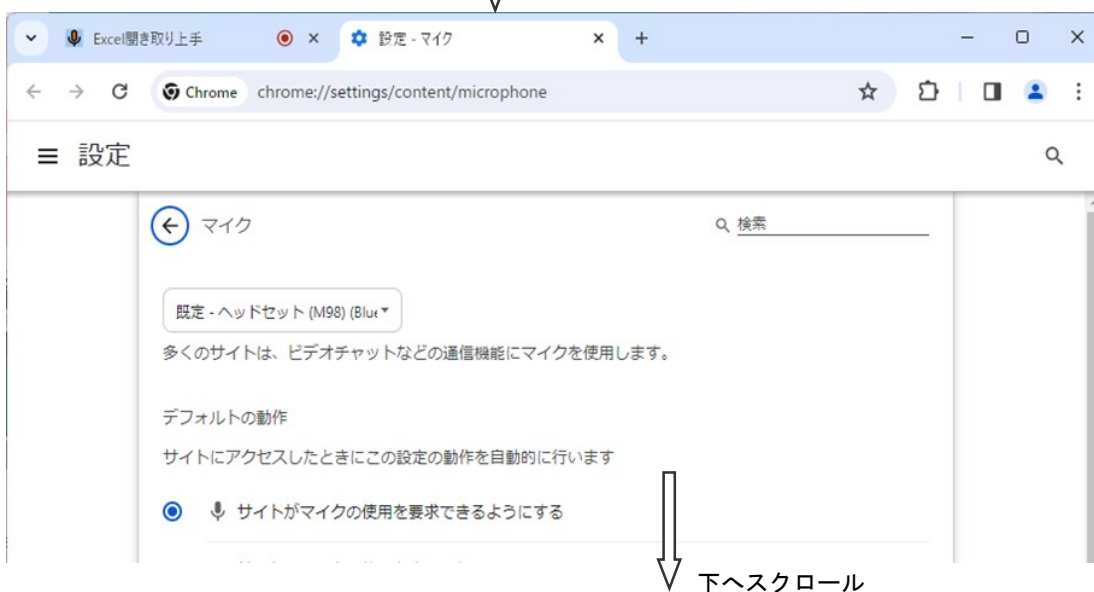


9. ブラウザーの設定

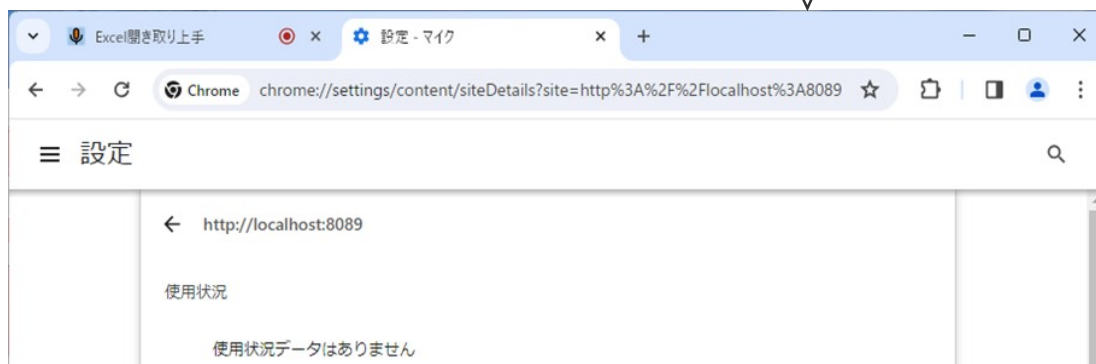
音声入力機能を使えるブラウザはGoogle Chrome、またはMicrosoft Edgeのいずれかです。

(1) Google Chromeの設定

- ・デフォルトの設定では、プログラムから音声が出ないようにになっています。ブラウザを操作しているうちにしばらく経つと音声が出るようになります。(人の介入が必要)
- ・音声出力を起動直後から有効にするためにGoogle Chromeの設定を変更します。
Google Chromeの設定画面は頻繁に変更されます。ご利用の際には以下の画面と違って
いる可能性もありますが、同じような項目を探して操作願います。



「マイクの使用を許可するサイト」 <http://localhost:8089> を選択します。



音声の復唱は Web ページを開いたらすぐに動作できるようにします。



(2) Microsoft Edgeの設定
Edge では以下の設定になります。



(3) ご注意

ブラウザは1つのウィンドウ、1つのタブページのみを起動して下さい。

<http://localhost:8089/index.html>

を表示するwebページを2つ以上開いていると音声入力できません。

10. Excelの起動

- (1) Google Chromeの設定が完了したら、「Excel 聞き取り上手」アプリケーションとWebページが表示されている状態で、Excelへの入力ができるようになります。

Excelシートが複数開いている場合は最前面の現在選択中のセルに入力されます。

- (2) Excelの代わりにメモ帳、TeraPadへ入力する場合（メモ帳はWindows11では動作しません。）
メモ帳、またはTeraPadを起動します。

- ① 「Excel 聞き取り上手」アプリケーション、②Webページ、③メモ帳、またはTeraPad
の3つが表示されている状態で入力できます。

TeraPadはフリーソフトです。別途ダウンロードしてお使いください。

1 1. 音声入力と音声操作機能

(1) 音声入力と音声案内の基本機能

ブラウザから入力された音声はExcelの選択中セルに入力されます。また、入力した内容が音声で復唱されます。ユーザーは期待通りの値が入力されたか耳で確認することができます。

(a) 数値入力モード

入力したい数値を発音します。

(b) 日付、時刻入力モード

「セルの表示形式を維持する」がチェックされていてセルに日付、時刻の表示形式がセットされているときはその形式に従って表示されます。

日付の発音例：ろくがつじゅうろくにち → 入力される値 6月16日

時刻の発音例：じゅうよじにじゅうごふん → 入力される値 14時25分

(c) その他の文字列

数値入力、日付、時刻入力モード以外では文字列入力モードとなり、ブラウザが認識した文字列がそのままセルに入力されます。

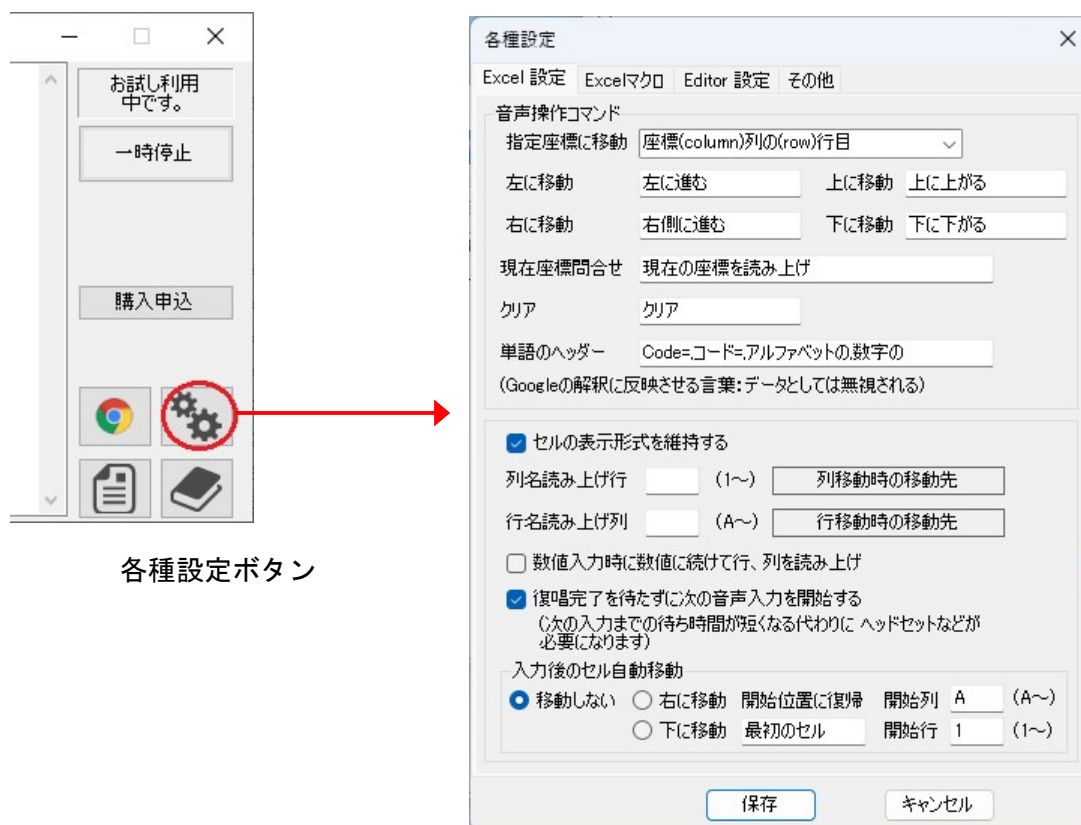
(d) チェックマーク、楕円図形挿入

(2) 各種設定画面

◆ 音声操作コマンド

ある既定のキーワードをコマンドとして音声入力することで選択中のセルを移動することができます。また、現在のセル座標を問い合わせて音声で発音させることができます。

これらのキーワードは発音のしやすさ、認識精度がユーザーごとに異なります。そこで、ユーザーが使いやすいキーワードを自由に設定できるようになっています。



・ 指定座標に移動

本コマンドは移動先の座標を音声で指示します。

既定の設定値： 座標(column)列の(row)行目 : (column)は列、(row)は行を示します。
座標(column)列(row)行目 に変更しても動作

音声入力例： “座標 G 列の 25 行目” （ざひょう じーれつのにじゅうごぎょうめ）
“座標”と次のアルファベットの発音の間に 0.5～1sec 程度の間を空けると認識してくれやすいようです。
設定値を” 座標 (column) 列 (row) 行目”としている場合は（ざひょう じーれつのにじゅうごぎょうめ）と発音します。
認識しやすいほうを使います。

動作： 選択中のセルが G25 へ移動します。

AA～ZA 列の 1 桁目の A は無視されたり誤認識するケースが多いので「単語のヘッダー: アルファベットの」を設定しておいて、“ざひょう アルファベットのえーえーれつさんぎょうめ”、“ざひょう アルファベットのえーぜつとれつよんぎょうめ”などのように発音すると認識しやすいです。
しかし、本コマンドは期待通りに音声認識できないケースが多いです。

連続してセルを 1 つずつ移動する場合は「入力後のセル自動移動」機能が使えます。

特定のセルへの異動を頻繁に行う場合は、「ユーザー辞書」機能を使うと安定した移動ができます。

例 \$Q5 セルへ移動したい場合：“座標 Q 列の 5 行目”コマンドを音声入力する代わりに「てすとぜろいち」”テスト 01”など入力内容を表す音声を発音しユーザー辞書により置き換えます。

音声入力された文字列 (1)	置き換え後の文字列 (2)
テスト01	座標Q列の5行目

・ **左に移動**（右に移動、上に移動、下に移動コマンドも同様）

音声入力例： “左に進む” （ひだりにすすむ）

動作： 選択中のセルが左隣のセルへ移動します。

列名読み上げ行、行名読み上げ列がセットされている場合は移動先の列名、行名がアナウンスされます。

「音声操作コマンド」欄に「右」の 1 文字のみ設定すると以下のように動作します。

音声入力例： “右” （みぎ）

動作： 選択中のセルが右隣のセルへ移動します。

ただし、音声コマンドの文字列を短くすると誤認識の確率がとても高くなります。

複数のコマンドを半角,”で区切ってセットすることができます。一例として”右に進む”は”ミニに進む”と認識されることがあるので右に移動コマンドへ”右に進む, ミニに進む”を設定して誤認識を避けることができます。

移動コマンド欄を空欄にすると、音声によるセル移動をしなくなります。

・ **現在座標問合せ**

音声入力例： “現在の座標を読み上げ” （げんざいのざひょうをよみあげ）

動作： 選択中のセルの座標がアナウンスされます。

列名読み上げ行、行名読み上げ列が設定されていない場合は無視されます。

・ **クリア**

音声入力例： “クリア”

動作： 選択中のセルの内容がクリアされます。

・ **元に戻す**（固定コマンド）

「もとにもどす」コマンドにより、セルに入力する前の値に戻します。戻せるのは 5 ステップ前の値までです。「元に戻す」文字列は変更できないので「各種設定」画面には表示されません。

最前面の Excel シートの履歴のみを記憶しています。最前面のシートを切り替えたら履歴は消えてしまいます。

・ **単語のヘッダー**

「数値入力」以外のモードで入力をする際のパラメータです。

G o o g l eの音声認識は文章を精度よく認識してくれますが、単なる単語の発音を入力しても期待したようには認識してくれず同音異義語が入力されたりします。特に英数字のコードのような一般的には意味のない文字の羅列を入力するのは難しいです。

一例として「A」の1文字を入力しようとして「えー」と発音しても無視される確率が高いです。これは憶測にすぎませんが日本語の話し手には次の言葉を考えている時間に「えー」と発音して間を持たせる人もいます。G o o g l eはこの「えー」を咳払いなどと同じような雑音として認識している可能性があります。そこで「こーどいこーるえー」と発音すると「Code = A」と認識してくれる確率が高くなります・・・気休め程度ですが。

E x c e lにデータとして入力されるのは単語のヘッダー部を除く後ろの部分です。

単語のヘッダーは「,」で区切って複数指定できます。ヘッダーを” Code =”とすると

音声入力例： “Code = DA7 アルファベットの Q”

(こーどいこーるでいーえーなあるふあべつとのきゅー)

動作 : DA7Q と入力される。

◆その他の設定

・セルの表示形式を維持する (V1.1.4 から)

チェックONにすると数値、日付時刻、文字列の入力モード切替をセルにセットされている表示形式に従って判断して適切な形式で入力されます。事前に Excel の「セルの書式設定」により書式をセットしておきます。

対応している分類は「数値」、「通貨」、「日付」、「時刻」、「パーセンテージ」、「文字列」、「標準」です。その他の分類には未対応で、どのような形式で入力されるかは予測できません。また対応している分類においても全ての「種類」に対応しているわけではありません。月の英語表記や時刻の AM、PM 表記やその他いくつか未対応の「種類」があります。

・列名読み上げ行

図のようなシート上でセルを音声コマンドにより左右方向に移動させた場合、列名読み上げ行＝2とセットしておくで黄色い部分のセルの内容が読み上げられます。D 5セルへ移動した場合「三菱自工」と音声出力されます。



・行名読み上げ列

図のようなシート上でセルを音声コマンドにより上下方向に移動させた場合、行名読み上げ列＝Aとセットしておくで緑の部分のセルの内容が読み上げられます。D 5 セルへ移動した場合「神奈川」と音声出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1				軽四輪車	軽四輪車	軽四輪車				
2		スズキ	ダイハツ	三菱自工	スバル	本田技研	マツダ	日産	トヨタ	
3	埼玉									
4	東京									
5	神奈川			2500						
6	山梨									
7	新潟									
8	富山									
9										
10										
11										
12										

・数値入力時に数値に続けて行、列を読み上げ

チェックを入れると、数値を音声入力した時に、認識した数値に加えて、現在のセルの列名、行名が続いて読み上げられます。ただし、行名読み上げ列、列名読み上げ行が指定されていない場合は“C10”、“J25”のような Excel 座標が読み上げられます。

・復唱中完了を待たずに次の音声入力を開始する

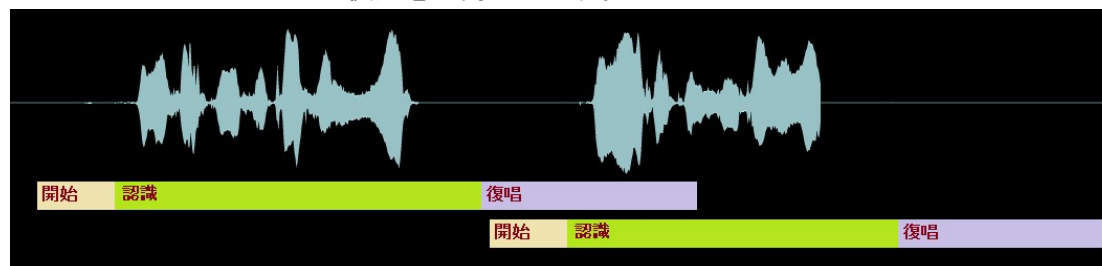
チェック OFF の場合：認識結果を復習中は次の認識を開始しないで待機します。

次の音声入力の準備ができるまでの待ち時間が長くなる代わりに、復唱した音声が入力に入ることがないので、イヤホンやヘッドセットを使う必要がありません。



チェック ON の場合：認識結果が確定したらすぐに次の認識を開始します。

次の音声入力までの待ち時間が短くなりますが、復唱した音声が入力に入って繰り返されるのでイヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めします。



・入力後のセル自動移動 (V1.2.4～)

セルの入力が完了したら隣のセルへ自動的に移動するよう設定できます。右方向、下方向のいずれかを指定できます。「」

入力後のセル自動移動

☒ 移動しない ☐ 右に移動 開始位置に復帰 開始列 (A～)
 ☐ 下に移動 最初のセル 開始行 (1～)

「開始位置に復帰」 (V1.2.6～)

右に移動を選択、開始列=Bと設定しておいて「さいしょのせる」と発音すると現在のセルの下の方のB列に移動します。「次の行の先頭」などの言葉のほうがわかりやすいのですが誤認識されやすいので、右に移動、下に移動のケース共にデフォルト設定を「最初のセル」としています。

	A	B	C	D	E	F
1		項目1	項目2	項目3	項目4	
2	検査対象1	95	80	85	77	
3	検査対象2					
4	検査対象3					

下に移動を選択、開始行=2と設定しておいて「さいしょのせる」と発音すると現在のセルの右の列の2行目に移動します。

	A	B	C	D	E
1		項目1	項目2	項目3	項目4
2	検査対象1	95	80		
3	検査対象2	200			
4	検査対象3	300			
5					

◆マクロ実行 (V1.2.4～)

マクロ実行機能はWindows11では動作しません。

マクロを実行する前に、まずExcelのVBAマクロを作成します。

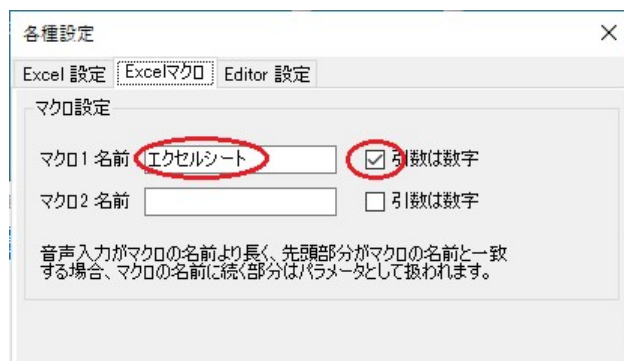
「聞き取り上手」から呼び出されるマクロはExcelブックの標準モジュールに以下の形式で作成します。SheetやThisWorkbookのマクロは「聞き取り上手」から呼出すことができません。

Public Function <マクロ名>(para As String) As String ①

この関数の復帰値の文字列は「聞き取り上手」経由で発音されます。復帰値をセットすることによりマクロの実行結果が音声で確認できます。

・マクロ設定 (V1.2.4～)

各種設定ウィンドウの「Excelマクロ」タブを開きます。



上図の例では①のマクロが **Public Function エクセルシート(para As String) As String** であるときにこれを呼び出すよう設定しています。

「エクセルシート3」と発音するとマクロ名に続く「3」は引数として扱われ para に渡されます。「引数は数字」にチェックを入れると音声コマンドが「エクセルシートに」と認識されても「に」を「2」に変換して para に渡されるようになります。マクロは2つまで設定することができます。

(3) ブラウザー「Excel 聞き取り上手」画面の設定

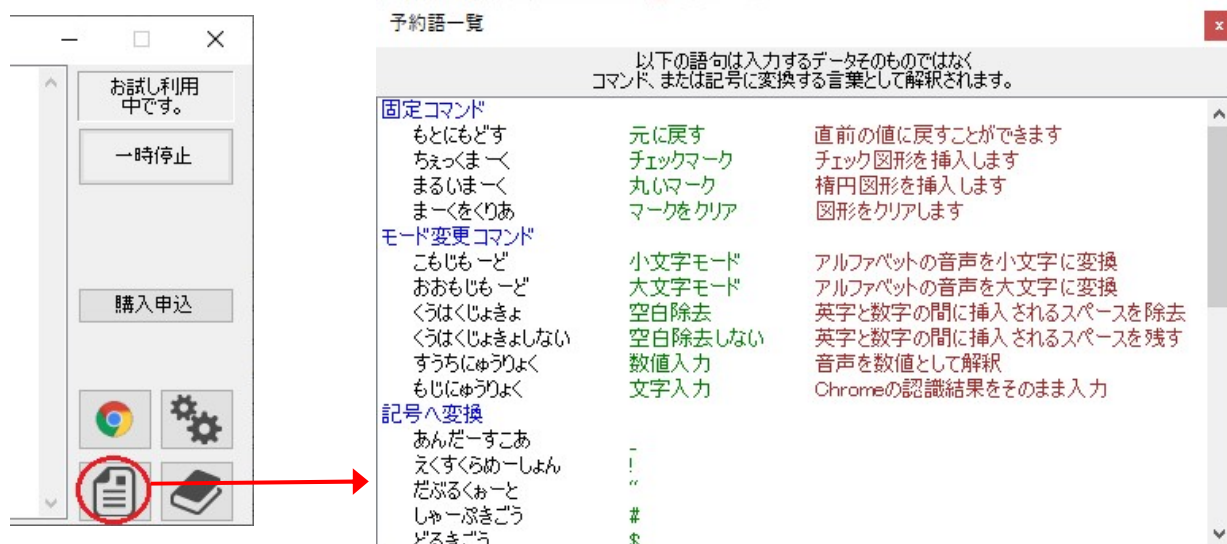
頻繁に使いそうなモード切替はブラウザーのチェックボックスで行います。

☐ 数値入力 ☐ 小文字モード ☒ 空白除去

- ・数値入力、文字入力（固定コマンド：コマンドの文字列を変更できません）
「すうちにゅうりょく」、「もじにゅうりょく」と発音することにより切り替えることもできます。
本チェックボックスは「各種設定画面」の「セルの表示形式を維持する」をONにしているときは不要なので表示されません。
- ・小文字モード、大文字モード（固定コマンド）
「数値入力」のチェックを外して入力をする際に有効なパラメータです。
Googleにアルファベットの発音を入力すると半角英文字に変換されるケースが多いです。
その際、大文字、小文字のいずれに変換してほしいかGoogleに伝えることは難しいです。
そこで、本ソフトウェアではブラウザーの画面にチェックボックスを設けソフトの中で大文字小文字を変換しています。
なお、「こもじもーど」、「おおもじもーど」と発音することにより切り替えることもできます。
- ・空白除去、空白除去しない（固定コマンド）
英数字が混在して続くコードのような文字列を音声入力すると、Google Chromeから出力される文字列のアルファベットと数字の間には半角スペースが入ります。この半角スペースを除去したい場合には「空白除去」のチェックをONにします。
また、「くうはくじょきよ」、「くうはくじょきよかいじょ」と発音して音声により切り替えることもできます。

(4) 予約語一覧画面

本プログラムによりコマンド、または記号に変換する言葉として扱われる語句のリストが表示されます。



予約語一覧ボタン

(5) ユーザー辞書画面

ある発音の音声入力がいつも期待と違う特定の語句に変換される場合はユーザー辞書に登録することにより、入力したい語句に置き換えることができます。

- ・誤変換を訂正したい場合
- ・業界用語を入力したいとき
- ・登録する件数が多すぎると応答時間の遅れが発生します。数十件程度なら影響は気にならない程度と思われます。
- ・登録内容は“VoceValue.exe”と同じフォルダー内にファイル“UserDic.xml”が作成され、ここに保存されます。
- ・以下は「ベータ」という音声入力文字列を「β」に置き換える際の入力例です。

追加入力中

入力と先頭部分が一致するセルを検索します。(1)は左列、(2)は右列が対象

音声入力された文字列 (1)	置き換え後の文字列 (2)
アルファ	α
皇帝	工程
ベータ	β

検索

☒ (1) ☐ (2)

行削除

保存して閉じる

破棄して閉じる

表の選択行が削除されます。

表の編集内容を保存するか破棄するか選択して画面を閉じる

ユーザー辞書ボタン

列のタイトル (1), (2) をクリックするとその列でソートされます。
もう一度クリックすると逆順にソートされます。

(6) エディター（メモ帳、TeraPad）への入力

聞き取り上手、ブラウザー、メモ帳を開きます。

発音するとメモ帳のカーソルの位置へ音声が入力されて入力されます。

1 度に入力する時間は 20 秒程度以下になるようにして、必要なだけ何度も入力を追加していくことができます。また、文字列を選択した状態で音声入力すると選択中の文字列が新しく入力した文字列に置き換えられます。

メモ帳を複数開いている場合は最前面のメモ帳に入力されます。

TeraPad への入力方法も同様です。

メモ帳と TeraPad が混在している場合はメモ帳へ入力されます。

連続的に約 20 秒を超えて話し続けるとブラウザーが応答しなくなります。その際は F5 キーを押すか、ブラウザー URL 表示欄の左隣の回る矢印アイコンをクリックします。

周囲に他の話し声が聞こえる環境では、このようなことが発生しやすいです。

(a) 改行コマンド

「かいぎょう」と発音するとエディターの現在のカーソル位置で改行されます。

(b) 「。」「?」の追加

音声の切れ目が特定の文字で終わっているときは文章の切れ目として判定し、「。」「?」が自動的に追加されます。

タイトルや、箇条書きを入力するときなど、本機能が邪魔になる場合はチェックを外してください。

また、続けて改行を自動的に追加する機能も利用できます。

以上の動作は文章が短く 8 文字以内のときは無視されます。

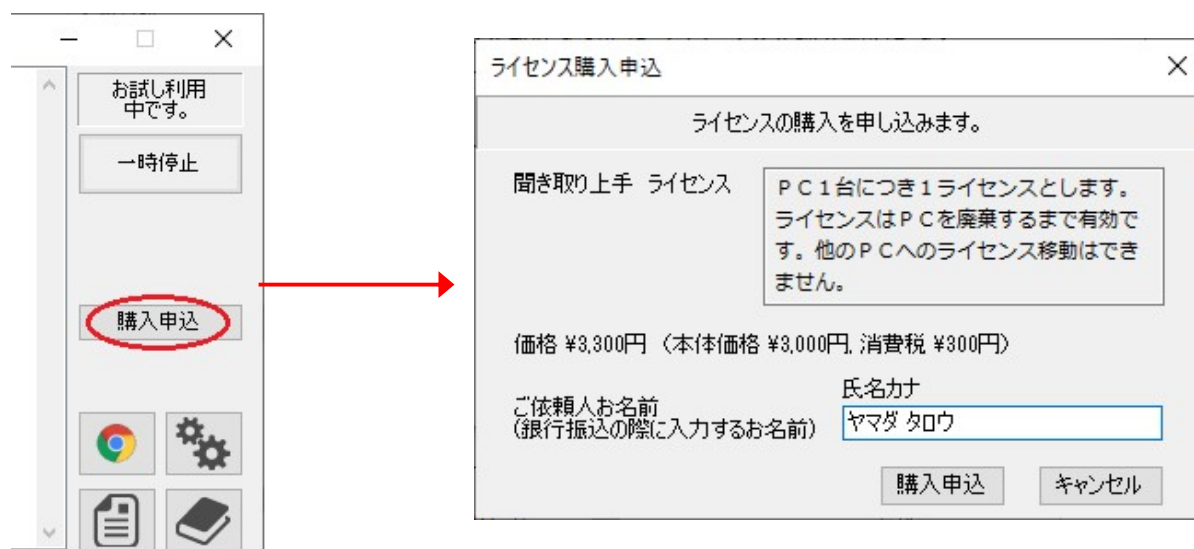


12. 購入申込

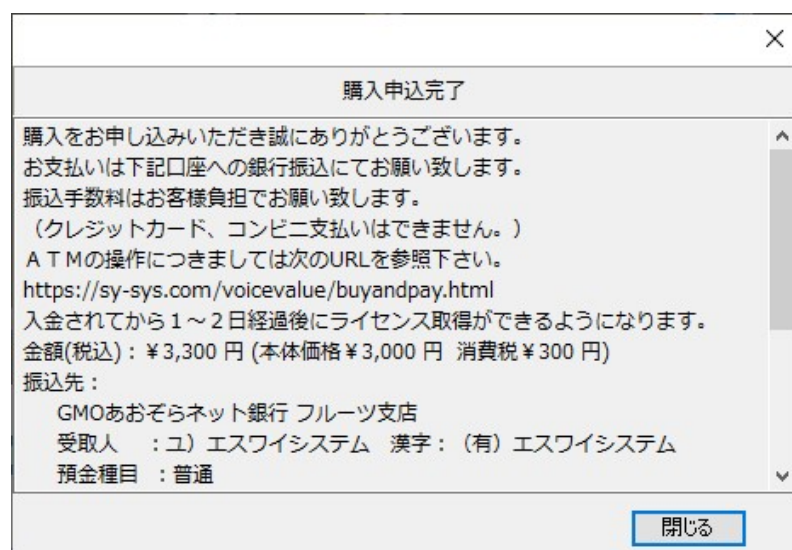
ライセンスを購入するとお試し版の制約が解除されます。

(1) 購入を申し込みます。

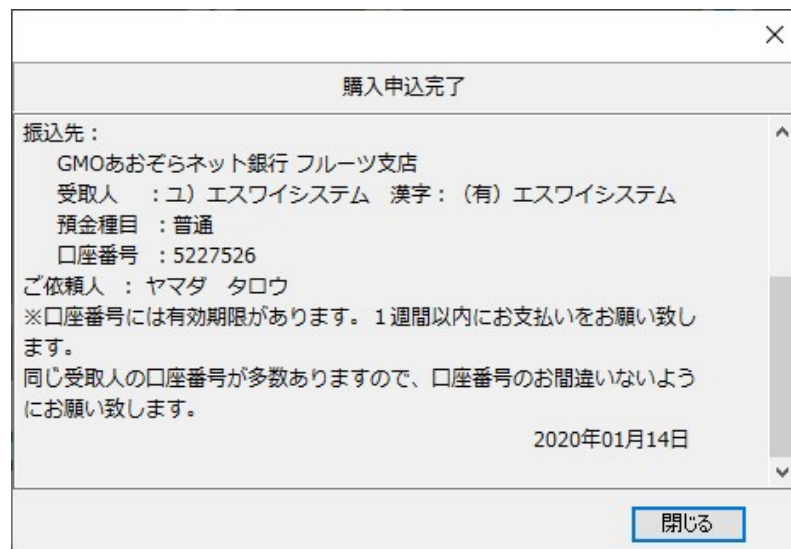
氏名は全角カナ、または全角・英字で入力します。



(2) 購入申込完了メッセージ



スクロールした画像



(3) 購入申込の結果エラーメッセージが表示される場合

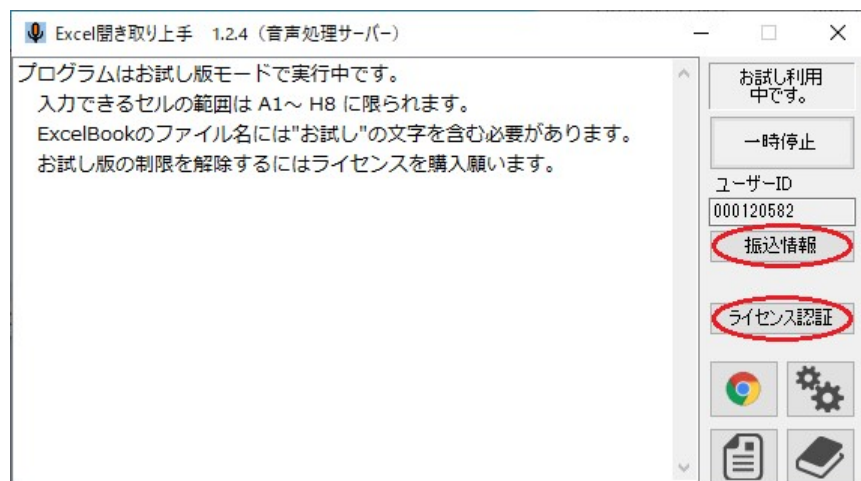
- ・ 日をおいてからもう一度操作して下さいという旨のメッセージが表示されたらメッセージに従って操作します。
- ・ その他のエラーが発生したら info@sy-sys.com までメールして下さい。その際にはメイン画面右側に表示されているユーザーIDをコピーしてメール本文に張り付け願います

(4) GMO あおぞらネット銀行向け振込の際のATMの操作 参考URL

<https://sy-sys.com/voicevalue/buyandpay.html>

13. ライセンス認証

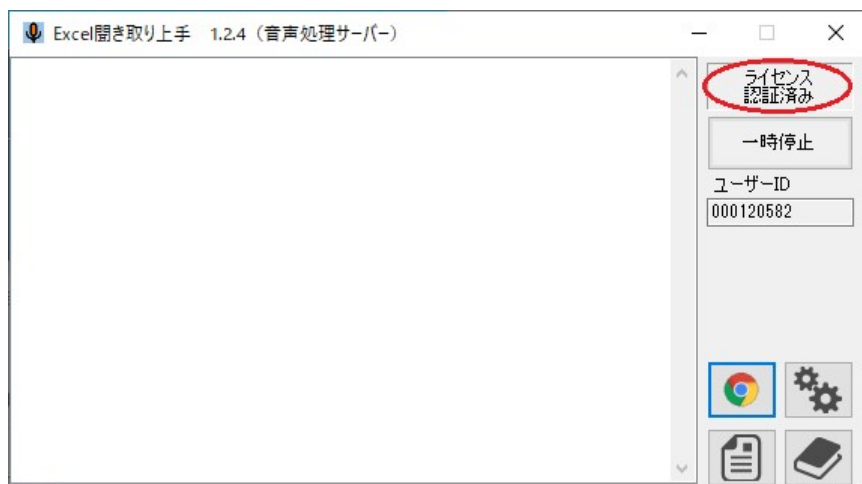
(1) 購入申込後「ライセンス認証」ボタンが表示されます。



銀行振込の入金が確認されるまでは「ライセンス認証」ボタンをクリックしても認証できません。入金確認処理は自動化されていないため振込後2日程度遅れることがありますが、ご容赦願います。また、振込情報ボタンが表示され、購入申込完了メッセージに表示された銀行振込に関する情報を再確認することができます。

(2) ライセンス認証完了

ライセンス認証が完了したら画面は次図のようになります。

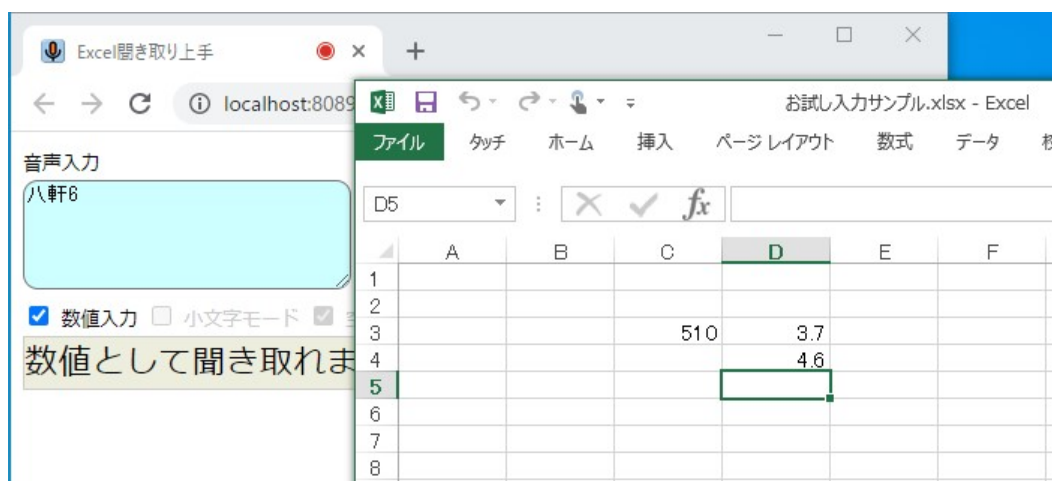


1 4. 誤入力避けるには

Excelを全画面よりやや小さく表示し、Excel 聞き取り上手のWeb画面の音声入力欄が見えるように配置します。

下図は、「8.6」の発音が不明瞭で「八軒 6」と入力された場合です。この例では数値として認識されないで「数値として聞き取れません」の音声が出ます。

慣れるまではユーザーが発音した内容とこの音声入力欄の文字列を比較しながら作業すると、どのような発音が正しく認識されやすいかが分かります。



- Excelに入力された値はPCのスピーカーから復唱されるので、この音を確認しながら作業を進めることにより誤入力を減らすことができます。
- 数字「4 5 6 7」を発音する時「よんごろくなな」と発音するより「よんせんごひゃくろくじゅうなな」と発音するほうが数値への変換精度がはるかに高くなります。
- 一方、1:「いち」、1000:「せん」のように発音が短い数字は認識してくれないことがあるので、「いちてんれい」、「いちぜろぜろぜろ」または「せんてんぜろ」のような発音をすることで入力しやすくなります。
- ブラウザーの「数値入力」チェックボックスの下には Excel 聞き取り上手が補正した文字列が表示されます。発生しやすい誤変換に対してはソフトで簡易な補正をしています。数値の最後の 5 がまれに号と入力されて「6. 号」などという文字データが入ることがありますが Excel 聞き取り上手はこれを「6.5」という数値に補正します。
その他、「0 点 2」などという入力については「0.2」と補正します。
- 偶然に 3.1413、3.1417 などのように π と似ていて少し異なる音声を入力すると、 π の正しい数字と一致しない桁以下が打ち切られることがあります。 $\sqrt{3}$ のようなよく知られている無理数に近い値でも発生しうるので、特に小数点以下の桁数が 4 桁以上の数値では変換結果を復唱する音声を確認することが重要です。

・裏技

その他、頻度は少ないですが、ある数値だけどうしても数値として変換してくれず、他の言葉に変換されるというケースが出てきます。小数点以下の桁数が多い場合に発生しやすいです。

応急的な回避策として、値3. 4 5 6 7を発音する際に、点「.」を「てん」と呼ばず「と」と呼び2つの整数をつなげたように「さん^とよんせんごひゃくろくじゅうなな」または「さん^とよんごろくなな」のように発音すると聞き取り上手の処理で3. 4 5 6 7へ変換して入力してくれます。

その他小数点については値5. 0 0 1を「ご^{ポイント}ゼロゼロいち」、「ご^{ドット}ゼロゼロいち」でも入力できます。

数字の“2”から始まる数値は認識してくれないケースがあるのでその際は「ゼロに」と先頭に「ゼロ」を付けると認識しやすいです。

(参考)

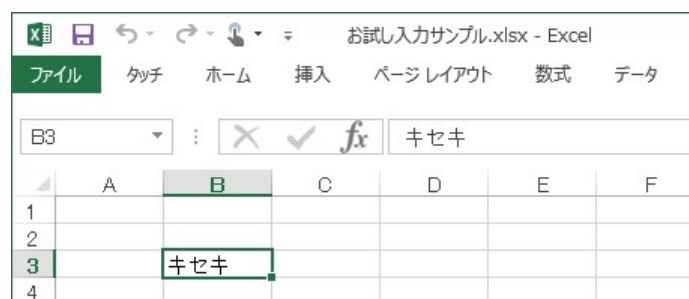
「数値入力」のチェックを外すと、数値以外の文章も含めてExcelのセルに入力されます。

ただし音声入力コマンドとして登録されている言葉はコマンドとして動作します。

また、文章として入力する場合、目安として20秒程度以内の短い音声にします。

15. 誤入力された文字列の訂正

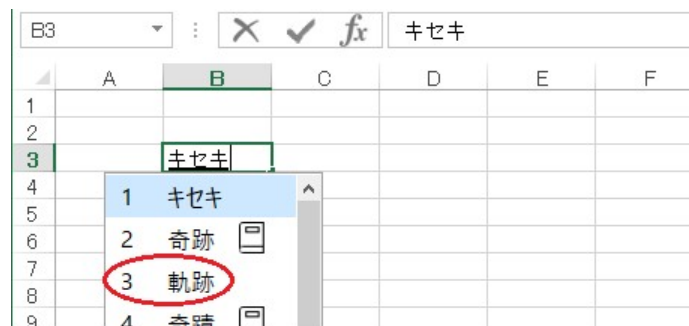
・「軌跡」と入力したい場合に「キセキ」と入力された場合の例です。



ダブルクリックまたは「F2」キーをクリックしてセルを編集モードにします。

マウスドラッグまたは「Shift」＋「Home」キーで全選択状態にしてから「変換」キーを押します。

同じ読みの単語のリストが表示されます。



指定したい単語を選択します。



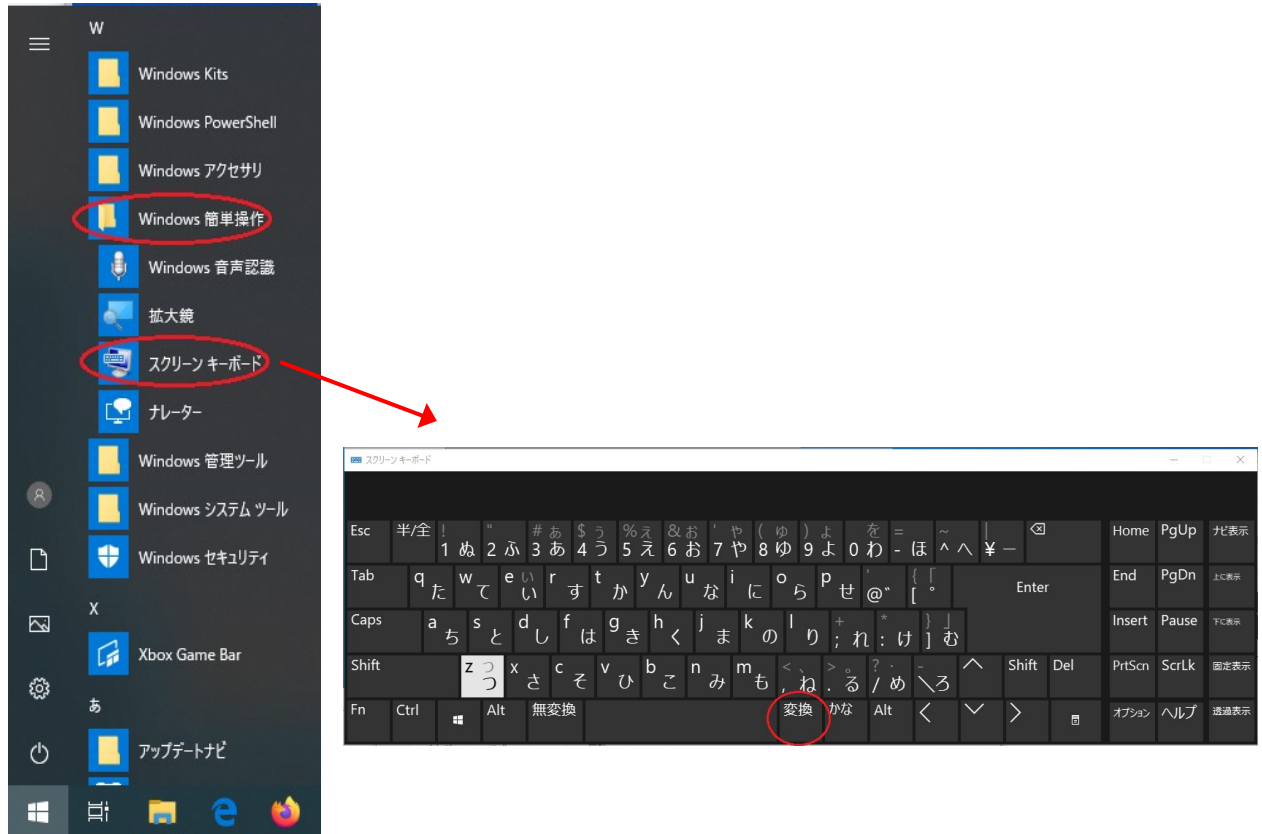
・タブレット PC の「変換」キー

キーボードが付いていないタブレットには Windows10 の画面右下から表示するタッチキーボードを使用するのが一般的ですが、これには「変換」キーが存在しません。



代わりに「スクリーンキーボード」を使用します。

スタートメニューから「Windows 簡単操作」→「スクリーンキーボード」を探します。

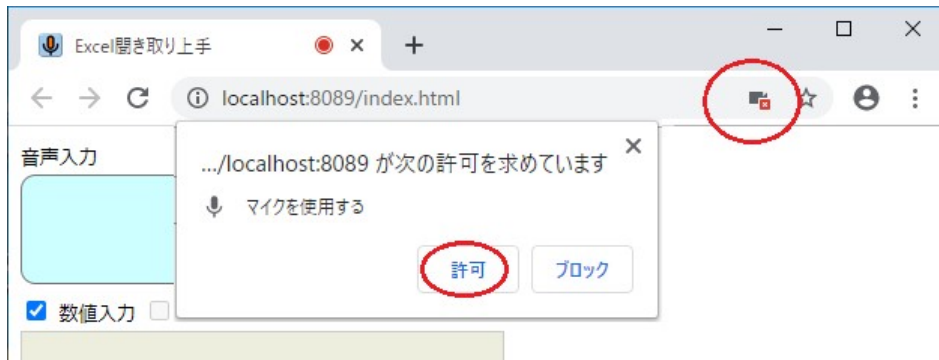


Windows 7 にも「スクリーンキーボード」は存在します。



16. 音声入力できないときなどにチェックするポイント

- (1) 社内のネットワークにプロキシサーバーが存在する場合
・本ソフトウェアは動作しない可能性が高いです。
- (2) Google ChromeのWebページに音声が入力されない。
・マイクの使用許可を問合せてきたら「許可」を選択して下さい。



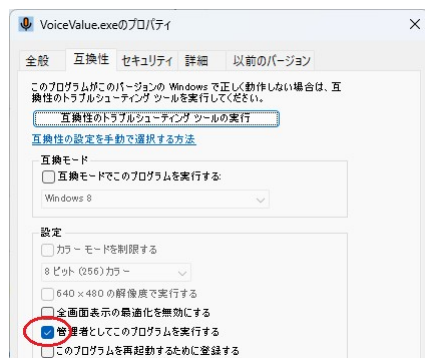
- ・右上のビデオカメラのアイコンに小さな赤い「×」印が付いて消えない場合は、マイクが外れていないか、またはハード的にマイクが使えない状態になっていないかを確認します。
- ・インターネットへの接続が切れていないか確認します。
- ・インターネットへ接続の回線が不安定なときは音声への変換が停止したり、応答に非常に時間がかかったりします。

WiFiを使っている場合、気づかないうちに安定した回線からその他の回線に切り替わっていることがあります。

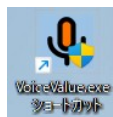
- ・PCの環境によってはExcel 聞き取り上手の起動後の最初や、スリープから復帰後の最初にExcelへ入力できないことがあります。
その場合は、タスクバーのアイコンをクリックしてExcelを再表示させるか、またはWebページをクリックして前面に出してから、Excelをクリックして前面に出して切り替えると、入力できるようになります。



- (3) ブラウザーの「音声入力」欄には入力が表示されるがExcelのセルにセットできない。
・「VoiceValue.exe」およびExcelを管理者で実行した上で、音声入力したいエクセルファイルを開くことにより解決できることがあります。



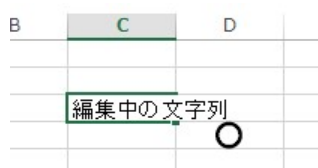
ショートカットを作りその「互換性」タブ「管理者としてこのプログラムを起動する」にチェックを付けると手間が省けます。



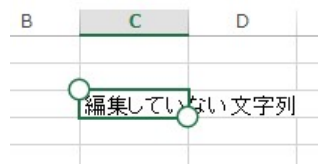
- ・ウイルス対策ソフトがWindows Defender 以外の場合 Windows Defender のみにすると解決することがあるかもしれません。

- ・ Excel のセルをキーボードで編集中のときはセットできません。編集中心であることを見落としやすいのでまずここを確認願います。

(a) タブレットで編集中心の状態



(b) 編集していない状態



(4) 購入申込、ライセンス認証ができない。

- ・ ネットワークが切断されていないか確認します。
- ・ 深夜などでごくまれに <https://sy-sys.com/> が表示されないときは、サイトがメンテナンス中の可能性があります。時間をおいてから操作してみてください。

(5) 発音しても応答が無い

あまりに短い言葉には応答しないときがあります。「いち」で応答が無いとき→「いちてんぜろ」

(6) 音声の取込に時間がかかる。応答なくなるなど不安定になる。

2つの要因が考えられます。

- ・ 周囲の雑音による影響

変換結果は音声停止後やや経過してから得られます。

マイクの感度が高すぎまたは周囲での話し声や雑音が大きいと、いつまでも音声入力が続けちゃうので変換結果が表示されません。何十秒も音声が続くと応答なくなることがあります。

対策：マイクの感度を落として、マイクの近くで大きな声で発声します。

またはヘッドセットを使用します。ヘッドセットを使用する場合でもマイクの感度調整をすることが好ましいです。

ボリューム調整の効果が無いように感じられるときは 0~100 のうち、3, 50, 95 など大幅に変更して確認してみてくださいから最適な値に調整してみてください。

マイクのボリューム設定方法





サウンドを選択した後に下へスクロールして 「入力」「ボリューム」を探す。
ボリュームを調整。



- ・ネットワークの通信が不安定な場合

W i F i を使っていて電波が弱く一時的に切断されるような場合は、音声入力の応答が無くなります。複数のW i F i アクセスポイントがある環境ではW i F i がいつのまにか安定していないほうに切り替わっているということがあり得ます。

「無線 LAN の接続先が勝手に切り替わってしまう場合の対処方法」で google 検索すると対処方法が見つかります。1 例を挙げます。

https://freソフト.tvbok.com/web/lan/change_ap_unintentionally.html

- ・ブラウザが応答しなくなった時の復旧方法

ブラウザ G o o g l e C h r o m e を選択して F 5 キーを押します。またはブラウザ上部のまわる矢印アイコンをクリックします。



たいていの場合はこれで復旧しますが、復旧しないときはブラウザを終了し、「Excel 聞き取り上手」メイン画面の「ブラウザ起動」ボタンから再起動します。

- ・上記いずれにも該当しないのに、ブラウザの音声入力欄（水色エリア）にマイクからの入力文字列が表示されない場合

(a) ブラウザーの F 5 キーを押す。

(b) ブラウザーを一旦閉じてから再起動してみる。

(c) タスクマネージャのプロセスタブページを開き、「Google Chrome」の CPU 負荷が 90% を超えるなど過大になっていないか確認する。

G o o g l e C h r o m e では C P U 負荷が重くなる現象が発生することがあり、ネットにはそ

の対策も掲載されています。

(d) その他の一時的な音声入力への無反応

20 秒ほど待つと復帰したりします。ただし、頻度がかかなり少ないのでなかなか再現テストと対策が出来ていません。今後、情報を把握できたら対策できるか検討する予定です。

- ・リボンのメニューから Excel の設定を操作中の場合はセットできないことが多いです。
- ・保護されたシートの保護されたセルにはセットできません。
- ・数式がセットされているセルにはセットできません。(Ver 1.1.4 以降)

(7) 「Excel が見つかりません」のエラーが表示される

- ・Excel を開いていない場合は開きます。
- ・バージョンアップ直後などや、ごくまれにスリープから復帰時に発生することがあります。「聞き取り上手」メイン画面を終了してから再起動してみてください。ブラウザー、Excel は開いたままで構いません。
- ・音声入力を続けると 2 回目に入力できるようになることもあります。

(8) Excel 聞き取り上手が「一時停止」状態のときは「再開」をクリックします。

(9) 全く違った言葉で誤入力される

マイクの位置が口の正面から横に外れるほど誤認識の確率が高くなります。マイクはなるべく口元に近いものが望ましいですが、Bluetooth タイプのヘッドセットではマイクが耳に近く支えが短いタイプが多いので本ソフトの用途に限って言えば変換精度はあまりよくないようです。

17. パソコンのOSを再インストールした場合

ライセンス済みのパソコンにおいてソフトの不具合などによりOSを再インストールした場合、再度 Excel 聞き取り上手をWebサイトからダウンロードして起動して下さい。ライセンス取得済みである場合は1~2分後に認証済みと表示されます。

18. VoiceValue*. **フォルダーを誤って削除した場合

VoiceValue*. **.zip ファイルが残っていれば、これを解凍します。無いときはWebサイトから「Excel 聞き取り上手」をダウンロードし、起動して下さい。

ライセンス取得済みである場合は前項の「パソコンのOSを再インストールした場合」と同じ操作で認証できます。

なお、ユーザー辞書をご利用の場合は定期的に“UserDic.xml”のバックアップをお勧めします。

19. バージョンアップ版にアップグレードするとき

Ver1.2.4 へのバージョンアップは無償です。以前のバージョンからバージョンアップされる場合の操作は「パソコンのOSを再インストールした場合」と同様にして認証できます。

ユーザー辞書の登録内容を新バージョンへ引き継ぎたい場合は事前に“UserDic.xml”をバックアップしておき、バージョンアップ後の“VoceValue.exe”と同じフォルダーへコピーします。

20. パソコンが故障したら

ライセンスはパソコン1台に対して1つとさせて頂いております。

申し訳ありませんがライセンスを他のパソコンに移すことはできません。

ライセンス認証用サーバーの機能上、ライセンスの移動はできないシステムとなっております。

ライセンス取得後1年以内に故障した時は info@sy-sys.com までメールして頂ければ個別に対応させて頂きます。その際は画面に表示されている「ユーザーID」もお知らせください。

2 1. 参考：記号変換

文字入力モードで音声入力するとき記号の発音を半角記号に変換します。

1桁から3桁程度の短い桁数の記号と英数字は意図したように入力できることがあります。
実用的なレベルではありませんが、ご参考までに列挙します。

入力	変換後	説明
アンダースコア	—	
エクスクラメーション	!	
ダブルクォート	“	
シャープきごう	#	きごう付加
ドルきごう	\$	きごう付加
パーセント	%	
アンパサンド	&	
シングルクォート	‘	
まるかっこ	(,)	出現順に交互に変換(ネストなし)
なみかっこ	{, }	出現順に交互に変換(ネストなし)
かっこ	[,]	出現順に交互に変換(ネストなし)
えんマーク	¥	
ハイフン	—	
チルダ	~	
ハットきごう	^	きごう付加
パイプきごう		きごう付加
スラッシュ	/	
アットマーク	@	
アスタリスク	*	
クエスチョン	?	
セミコロン	;	
コロソ	:	
カンマ	,	
ピリオド	.	

注) 後ろに“きごう”が付いている項目は記号に変換しないでカタカナのまま入力したい時がありそうなものについて付けています。

例えば「パイプ」と発音するとそのまま、「パイプきごう」と発音すると“|”に変換されます。

以上